

全国瞬時警報システム(Jアラート)が発信された場合の対応について

全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報が発信されたときは、下記のように対応いたします。

なお、緊急対応がある場合には、緊急メール発信システムでお知らせしますが、つながりにくいことも予想されます。様々な状況を想定し、安全第一での対応をお願いします。

記

- 1 登校前に、全国瞬時警報システム(Jアラート)が発信された場合
 - ・自宅待機とします。
 - ・安全が確認された後、慌てずに登校してください。(始業時刻に遅れてもよい。)
 - ・登校時刻の変更、休校等の場合は、学校の緊急メール配信システムを使ってお知らせします。
 - 2 登校時・下校時に、全国瞬時警報システム(Jアラート)が発信された場合
 - ・安全な場所に一時避難し、学校か自宅の近い方に移動することとします。
 - (各家庭で安全な場所を確認し、通学途中に一時避難できる場所を話し合っておいてください。
 - また、自宅に戻るか学校に移動するか、目安となる場所も決めておいてください。)
 - 3 在校時に、全国瞬時警報システム(Jアラート)が発信された場合
 - ・直ちに授業等を中止し、児童(生徒)を安全な場所に避難させます。
 - ・緊急連絡がある場合、児童引き渡しの場合は、学校の緊急メール配信システムを使ってお知らせします。
- ※ 落下物らしき物を発見した場合は、決して近寄らず、警察・消防に連絡してください。
- ※ 上記対応は、日本の領土、領海に落下する可能性がある場合、関東地方を通過する、あるいは通過した場合とします。

【参考】 国民保護ポータルサイト(内閣官房) <http://www.kokuminhogo.go.jp/>

○ 「弾道ミサイル飛来に伴う行動等」について

① 弾道ミサイルの特徴

- ・弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾する。
- ・ミサイル着弾時には爆風や破片などによる被害が想定される。

② 弾道ミサイル飛来等に関する緊急情報の発信について

- ・全国瞬時警報システム（Jアラート）、防災行政無線や緊急速報メール等がある。

③ 発生時の行動方法について

- ・状況を判断し、自ら身の安全を確保できるように落ち着いて行動する。
 - ※登校前の場合は、自宅で待機し、安全が確認されてから登校する。
 - ※速やかに教室等の屋内（窓のない部屋、できるだけ窓から離れる）に避難する。
 - ※近くに適当な建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
 - ※バスの移動中は、運転手さんの指示に従う。
 - ※登校、下校中は、近くの建物（110番の家やお家の人と相談した場所）に避難する。安全を確認し、自宅か学校の近い方へ移動する。自宅が留守で入れない場合は学校へ移動する。
 - ※落下物らしき物を発見した場合は、決して近寄らず、大人の人に伝える。